

感 性 の 解 放 宣 言

岡本太郎と

『今日の芸術』

OKAMOTO Taro and *Today's Art*
— Everyone is An Artist —

絵はすべての人の創るもの



2018年10月5日(金) → 2019年1月14日(月祝)

アーツ前橋

※会期中、一部展示替えあり

開館時間: 11時-19時(入場は18時30分まで) 休館日: 水曜日、年末年始(12月28日-1月4日)

観覧券 ● 一般600円 ● 学生・65歳以上・団体(10名以上)400円 ● 高校生以下無料

※10月5日(金)~30日(火)はアーツ前橋の開館5周年を記念して入場無料。

※1月7日(日)は岡本太郎の命日のため無料。※障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料。

※本展覧会会期中割引…以下の条件でご来館の方は、観覧料が400円になります。

- ① トワイライト割: 17時以降にアーツ前橋にご来場された方
- ② 太陽の鐘割: 携帯やカメラで《太陽の鐘》を撮影した写真を受付で提示した方

主催 前橋岡本太郎展実行委員会
 共催 アーツ前橋
 助成 自治総合センターシンポジウム助成金
 後援 上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、
 毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、
 産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、
 日本経済新聞社前橋支局、共同通信社前橋支局、
 時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、
 群馬テレビ、FM GUNMA、
 まえはしCITYエフエム、前橋商工会議所、総務省



アーツ前橋開館5周年記念企画展



《太陽の塔》やTV・ラジオ出演などを通して文化的アイコンとなった岡本太郎。彼は戦後に数多くの芸術論を残し、とりわけ1954年の著作『今日の芸術』は、創造的に生きるための入門書として、美術書としては異例のベストセラーとなりました。太郎は本書において、「芸術は万人によって、鑑賞されるばかりでなく、創られなければならない」と述べました。自分たちの感性で芸術に触れ、自分たちの手で文化を作り上げていくことを訴えかけたメッセージは、同時代の若者や芸術家を挑発しました。本展では、太郎が『今日の芸術』以降、戦後社会に与えたインパクトを検証します。岡本太郎の作品・映像資料のほか、彼に刺激を受けた芸術家たちの作品を通し、今もなお私たちに鼓舞する太郎の思想を読み解きます。2018年3月には、前橋・広瀬川河畔に《太陽の鐘》が出現しました。「森羅万象が叫ぶような、あらゆる音を立てる」鐘とともに、岡本太郎の世界を体感してみませんか。



開 連 イ ベ ン ト 出 品 作 家

① シンポジウム

岡本太郎の研究者や、彼に影響を受けた文化人たちをゲストにお招きし、シンポジウムを行います。

日時 10月7日⑧ 14時～17時

定員 前橋テルサ2階ホール
(群馬県前橋市千代田町2丁目5-1)

ゲスト 山下裕二(美術史家・明治学院大学教授)ほか
*要申込 詳細はアーツ前橋HPへ

② 記念講演会「岡本太郎と読む『今日の芸術』」

日時 11月11日⑧ 14時～16時

ゲスト 春原史寛(本展監修)

会場 アーツ前橋スタジオ

定員 40名 *要申込

③ 学芸員によるギャラリートゥアー *申込み不要

日時 10月21日⑧、11月17日④、12月15日④
14時～14時半

会場 アーツ前橋 ギャラリー *要観覧券

④ 前橋に太陽の鐘が鳴る

前橋市の広瀬川河畔に設置された《太陽の鐘》を鳴らします。

日時 12月2日⑧ 13時～14時

定員 100名 *要申込

⑤ ロビーライブvol.18 エレクトロニックミュージック

アーツ前橋で行う小さな音楽ライブ。

日時 12月9日⑧ 14時～14時40分

ゲスト Aalko aka Akiko Kiyama

会場 アーツ前橋 交流スペース

⑥ おしゃべりアートデイズ

作品について気づいたこと、感じたことを自由に話しながら鑑賞します。

期間 12月3日⑧～9日⑧ *詳細はアーツ前橋HPへ

⑦ 映画館で太郎に出会う

岡本太郎が自ら出演し、また登場するキャラクターデザインを行った映画を上映します。

上映作品 『宇宙人東京に現わる』(監督:島耕二、1956年)
『誘惑』(監督:中平康、1957年)

会場 前橋シネマハウス(アーツ前橋と同じ建物3階)

*詳しい上映情報はアーツ前橋HPへ

●同時上映

上映作品 『太陽の塔』(監督:関根光才、2018年)

上映日程 10月13日(土)～

会場 前橋シネマハウス(アーツ前橋と同じ建物3階)

*詳しい上映情報や関連イベント情報は、前橋シネマハウスにお問い合わせください

①～⑥: 参加費無料

②④のお申し込み: アーツ前橋(TEL 027-230-1144)

OKAMOTO Taro
IKEDA Tatsuo
池田龍雄
SHINOHARA Ushio
篠原有司男
SEKIGUCHI Kotaro
関口光太郎
TAKAMATSU Jiro
高松次郎
Pablo PICASSO
パブロ・ピカソ
YANOBE Kenji
ヤノベケンジ
YOKOO Tadanori
横尾忠則
ほか



上●岡本太郎《燃える人》1955年 東京国立近代美術館蔵 中央●岡本太郎《夜明け》1948年 東京国立近代美術館蔵 右下●岡本太郎《足場》1952年 草月会蔵(東京都現代美術館寄託) 撮影:内田芳孝 左下●横尾忠則《岡本桃太郎》1966/2000年 川崎市岡本太郎美術館蔵

『今日の芸術』とは?

1954年に刊行された岡本太郎の代表的著作。10万部を超えるベストセラーとなった。中学2年生にもわかるやさしい言葉遣いと熱を帯びた筆致で、美術作品との向き合い方、日本文化や、生活文化を打ち立てるための心がまえを説いた。度重なる再刊と再録によって今日まで読み続けられ、芸術家の横尾忠則など、影響された文化人も多い。

1954年版
1955年版
1963年版
1973年版
1999年版

アーツ前橋

ARTS MAEBASHI

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16
TEL: 027-230-1144 FAX: 027-232-2016
URL: <http://artsmaebashi.jp/>
5-1-16, Chiyodamachi Maebashi Gunma 371-0022
E-mail: artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp



②マークの駐車場のご利用に際しては駐車券に4時間無料の割引処理をいたします。公共機関: JR前橋駅から徒歩約10分/上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分 自動車: 関越自動車道 前橋I.C.から車で約15分
By Train: About 10 min. on foot from JR Maebashi station, about 5 min. on foot from Jomo railway.
By Car: About 15 min. by car from the Maebashi Interchange on the Kan-etsu Expressway.

OKAMOTO Taro and Today's Art

— Everyone is An Artist —

This exhibition, aside Taro Okamoto's artworks and documentaries, also presents the works of the artists who have been motivated by his book, *Today's Art (Konnichi no Geijutsu) (1954)* to let the viewers understand his ideas that are encouraging us in the present times.

5 October 2018 – 14 January 2019 | Open hours: 11:00-19:00 entry up to 30 minutes before closing | Closed on Wednesdays and between 28 December 2018 and 4 January 2019 | Admission: Adults 600(400) yen, University students and over 65years old 400 yen.

| Free for High school students and under. | Fares in brackets are rates for groups of 10 more. Free entrance on October | Entrance between 5:00pm and 6:30pm: 400yen. | Visitors who show a photo of *Taiyo no Kane (Bell of the Sun)* at the ticket office: 400 yen